

平成 30 年度 西が岡小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重の教育を基盤に自ら学び，自ら考え，主体的に判断して生きていくことのできる，心身ともに健康で，心豊かな，たくましい児童を育成する。

【1】明るく元気な子ども 【2】よく考えて学習する子ども 【3】心豊かで思いやりのある子ども

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

教育目標の達成を目指し，子どもの自主性を育て，希望に満ちた明るく，楽しい学校づくりをするために，全職員が和と協力，熱意，そして人間尊重の精神を基盤に『生きる力』を育む教育に取組み，活力に満ちた特色ある学校経営を推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 一人一人のよさや特性を受け止め，持てる力が発揮できる居がいのある学校・学級づくり，自主性を育てる教育活動の展開に努める。 (学級経営の充実)
- (2) 授業の充実と学習習慣の定着を図り，学ぶことの楽しさや成就感を体得させ，自ら学ぶ態度の育成と基礎・基本の確実な定着に努める。 (学習指導の充実)
- (3) 情操豊かな教育環境と道徳教育の充実を図り，「生命や人権を大切にすること」「思いやりの心」を育み，心豊かでたくましい子どもの育成に努める。 (心の教育の推進)
- (4) 全教職員の共通理解のもと，児童との信頼関係を深め，日常の指導と家庭との連携を通して，規範意識の醸成と基本的生活習慣の確立に努める。 (児童指導の充実)
- (5) 進んで運動に親しむ体育指導と，健やかな体を育む食育・保健指導の充実を図り，健康・体力の向上に努める。 (体力の向上と保健安全教育・食育の充実)
- (6) 学校園として認め励ます指導を通して自尊感情を育み，学習や活動の交流を図り，小中一貫教育を推進する。 (小中一貫教育の推進)
- (7) 常に自己の資質向上に努め，子どもや保護者から信頼される教職員集団を目指す。 (教職員の資質の向上)
- (8) 家庭や地域との連携と情報発信の充実に努め，地域とともにある学校づくりの推進に努める。 (地域とともにある学校づくり)
- (9) ICTの活用，協働体制の確立，教育の重点化，学級経営力の向上，報・連・相体制の徹底，出退勤時刻の管理等により教育の効率化を図り，教職員の働き方改革を推進する。 (教職員の働き方)

【宝木地域学校園教育ビジョン】 「いきいき宝木」心豊かな宝木っ子の育成を目指して

- 豊かな心の育成
- ・ 規範意識と自尊感情の育成
- ・ 生命を尊重し相手を思いやる態度の育成
- ・ 自然，文化，芸術に親しむ感性の育成

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

落ち着いた学校生活のもと，縦割り班活動を中心とした体験活動や道徳教育，読書活動などを通して豊かな心と自主性を育み，特別支援教育の視点を取入れた分かる授業の充実を図り，学ぶことの楽しさを実感する教育の推進に努める。

教職員の出退勤時刻の把握と管理，積極的なICTの活用による教材の共有化，教育の重点化などの取組により，教職員の勤務時間を意識した働き方の推進に努める

【学 習 指 導】

児童の実態（学習内容定着度，特性等）を踏まえた分かる授業を展開し学習意欲の向上に努めるとともに，家庭学習の習慣化を図り学習の定着に努める。

【児 童 生 徒 指 導】

道徳教育や学級経営の充実を図り，具体的な活動を通して「明るいあいさつ」「正しい言葉遣い」「決まりを守る態度」の育成に努める。

【健康（体力・保健・食・安全）】

体育，保健，食育指導の連携をもとに，自己の生活習慣（保健安全・食習慣・体力）を意識できる児童の育成に努める

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「私は今の学校が好きです。」→児童の肯定的回答90%以上	① 学校行事や児童会活動に児童が主体的に取り組む場を設定し、適切な指導・支援・助言をすることにより、児童の達成感・自己肯定感を高める。 ② 多様な活動や体験学習の場を設定し、児童の意欲を高める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は協力し、生徒の良いところを認め教えるべきことを熱心に指導している」→児童の肯定的回答90%以上	① 全職員が職員会議や学年会での児童の情報交換を密にし、共通理解する。 ② 学習の進み具合を確かめ、よさを認めた言葉掛けやつまずきに応じた一人一人への支援を工夫し、個別支援の充実を図る。 ③ 朝の学習を活用し、担任以外も学級支援に係る。 ・国語・算数の基礎的・基本的な内容の繰り返し学習（漢字・計算） ・10分ミニ作文など「書く」内容の学習		【達成状況】 【次年度の方針】
	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は授業と生活のきまりを守って生活している」→児童の肯定的回答80%以上	① 全職員共通理解のもと、朝会・全校集会で全児童に話をしたり、各学級において指導したりする。 ・休み時間の過ごし方 ・授業の始まりの時刻 ② 「よい子の一日」の周知徹底を図る。 ・廊下の歩行（教室移動時・休み時間） ・終業のあいさつと次時の準備 ・遊び方の共通理解 ・清掃中、清掃後の指導の徹底 ③ 生活目標を活用し、スモールステップで目標を達成できるようにする。 ・良かった点を朝会で賞賛する。 ・児童指導主任や代表委員児童が放送等で呼びかける。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」→児童の肯定的回答 90%以上	① 全職員共通理解のもと今年度の学校課題の研究を進める。 ② 授業研究を行い、指導方法の工夫改善や指導力の向上を図り、きめ細かな指導を実施する。 ・一人一授業公開 ・板書チェックリスト活用 ・ヒントカードや教材提示の工夫 ③ 具体的な学習の取組の状況や研究の様子、要請訪問などについて、学びの広場で取り上げ、学校での研究の様子を保護者に知ってもらう機会にする。 ・チャレンジウィークの実施 ・学びの広場の発信 ・西が岡小「家庭学習のすすめ」の配付 ④ ノートやワークテスト、プリントなどに励ましやアドバイス・コメントなどを入れ一人一人の意欲を高める。 ⑤ 西が岡小学力向上改善プランに基づき、全職員で学力向上に向けて取り組む。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生はいじめが許されないことを熱心に指導してくれる」→児童の肯定的回答 90%以上	① 教育相談を年間 2 回実施し、児童の実態の把握と早期発見に努める。 ① 人権週間、いじめゼロ月間、いじめゼロ集会を実施するとともに、保護者にも公開し啓発に努める。 ② 全児童でいじめ防止ポスター作製に取り組み、いじめ防止の機運を盛り上げる。 ④ いじめ防止に関する資料や学校での取り組みを、学校便りやHPなどで地域や保護者に積極的に発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケート「学校の日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている」→保護者の肯定的回答 90%以上	① 行事の終了後や年度末にアンケート等による振り返りを実施し、可能なことはすぐに改善するとともに、次回・次年度に生かしていく。 ② 行事の際に、タイミングをとらえて適切に保護者や地域へ情報を発信するとともに、アンケートBOXを設置して意見を募集し、反映できるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信している」→保護者の肯定的回答 90%以上	① 行事や各種集会、親子活動等、積極的に学校公開を実施する。 ② 保護者や地域へ学年・学校便りで情報を発信するとともに、定期的にHPを更新していく。 ③ 様々な場面で保護者等のボランティアを積極的に導入し、開かれた学校作りを行う。	【達成状況】 【次年度の方針】

A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」→保護者の肯定的回答 90%以上	① 全学年で行政や企業と連携した出前授業を実施し、保護者にも積極的に参観を呼びかけていく。 ・環境教育（富士重工業） ・上下水道局 ・命の授業 ・薬物乱用防止 ・人権教室 ・歯磨き教室 ・手洗い教室 ・リコーダー教室 等 ② 「魅力ある学校づくり地域協議会」と連携して、学校運営の充実を図る。 ・安全ボランティア ・放課後子ども教室 ・体験活動（昔遊び・昔の暮らし） ③ 外部団体と連携した授業の様子は、学校便り、HP等で積極的に分かり易く家庭・地域へ情報を発信していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、清掃が行き届き、学習しやすい環境である」→保護者の肯定的回答 90%以上	① 清掃指導の充実（西岡タイム）と施設設備の維持管理を行う。 ・清掃強化週間や大掃除の時間の実施 ・短縮日課の際の自主清掃 ② 校内緑化（花はなタイム・教材園）を推進し、学習にふさわしいよりよい環境づくりに努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」→保護者の肯定的回答 80%以上	① 中学校との相互乗り入れ授業の充実を図り、TT指導を実施していく。 ② 行事や児童会活動・集会活動等での交流を実施していく。 ・あいさつ運動 ・陸上合同練習 ・音楽朝会での発表 ③ 「地域学校園の日」を活用して研修や情報交換を行い、地域学校園全体での共通課題の達成を目指す。 ・宝木学校園「生活のきまり」 ・自主学習推進・学習のきまりの統一した指導	【達成状況】 【次年度の方針】
A 11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。 【数値指標】 全体アンケート「多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。」→教職員の肯定的回答 80%以上	① SCを活用し、教育相談活動の充実を図り、児童・保護者の抱える問題の早期発見、関係機関とのスムーズな連携を行い、解決を目指す。 ② 学校図書館司書業務嘱託員やALTと連携し、学習に必要な資料準備や、T・T等を行うことにより、教員の事前準備等の軽減を目指す。 ③ かがやきR支援員と、日常的に情報交換を行い、児童の状況把握をして、学級での指導に生かしていく。	【達成状況】 【次年度の方針】

教育活動の状況	A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。 【数値指標】 全体アンケート「教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。」→教職員の肯定的回答80%以上		① SCMにより、SCに事前に文書で情報を伝えることにより、情報の共有化を図るとともに、相談後には関係者への情報伝達の時間を確保する。 ② 学校スタッフからの積極的な声掛けによって、日常的なコミュニケーションの中で情報交換を行っていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	生 活	A13 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 「時と場に応じたあいさつ」→児童の肯定的回答90%以上	① あいさつ強化週間や中学校との合同あいさつ運動を活性化し、全児童が積極的に運動に参加できるようにする。 ・低・中学年児童の自主的な参加の推進 ② 学校便りや懇談会で保護者や地域に協力を呼びかけ、地域を巻き込んだあいさつ運動を展開する。 ・家庭での習慣化 ③ 地域に向けたあいさつについて、学年に応じて、学級単位で指導を継続する。	【達成状況】 【次年度の方針】
		A14 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 「時と場に応じた言葉づかい」→児童の肯定的回答85%以上	① 毎日の授業・生活において、時と場に応じた言葉遣いができるよう指導する。 ・「～さん」と呼ぶ指導 ・他の教室や職員室への入り方の指導 ・目上の人に対する言葉遣いや正しい敬語の使い方について日常生活の中で指導を行う。 ② 学年便り・学校便りや懇談会等で、家庭や地域に協力を呼びかける。 ③ 教室に発表の仕方の例を掲示し、正しい言葉による話し方の指導をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
		B1 児童は、交通のきまりを守って登校している。 【数値指標】 「きまりを守って登校している」→児童の肯定的回答90%以上	① 月1度の登校指導や一斉下校の際に、目標を決めて交通指導を実施し、登校班への個別支援をするとともに、児童への啓発をより充実させる。 ② 学年下校については、必要に応じて昼休みなどに集め、安全な下校について振り返ったり確認したりする。 ③ 交通安全教室・安全な自転車の乗り方教室等で、交通安全について徹底を図る。 ③ 安全ボランティアを募り、家庭・地域と協力して、登下校の見守りをする。	【達成状況】 【次年度の方針】

	B2 教職員は、心の教育を中心にすえた学習活動と特別活動の推進に取り組んでいる。 【数値指標】 アンケートの「心の教育と特別活動の推進に取り組んでいる」→教職員の肯定的回答 90%以上	① 豊かな感性の育成を目指した読書活動を推進する。 ・ボランティアによる読み聞かせ ・読書週間の活用 ・図書館司書による選書の支援 ② 自ら読書する時間の確保と指導の工夫を図る。 ・読書ファイルの活用 ・朝の読書の活用 ③ 道徳では、人権や命について、保護者参加など工夫して、授業参観等で公開する。 ④ 小中連携した「宮っ子心の教育」を推進する。 ⑤ 「命の授業」や「人権の授業」を保護者に公開したり、親子学習にあてたりして、保護者への啓発を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
健康・体力	A15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 アンケートの「積極的に運動している」→児童の肯定的回答 85%以上	① 体育の授業と関連させて、児童が自主的に運動できるサーキットトレーニングを行う。 ② 夏季休業・学期間休業・冬季休業などの長期休業期間中に、児童が自発的に運動に取り組めるようなチャレンジカードを作成し、活用する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A16 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 アンケート「好き嫌いなく給食を食べている」→教職員の肯定的回答 90%以上	① ランチルームで食育の話をしたり、生活チェックシートを活用して個別指導（担任・養護教諭・栄養士等）をすすめたりする。 ② 「おべんとうの日」には、学年に応じて栄養のバランスを配慮した献立が立てられるようにワークシート等を活用して支援する。 ③ 保護者から募集した好き嫌い克服メニューを献立に取り入れ、家庭への啓発を図る。 ④ 嫌いなものが食べられた記録を残し、家庭で評価してもらう事で、児童の頑張りと成果を保護者に広める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B4 教職員は体力チェックや生活アンケートを実施し、健康・体力面での個別指導をしている。 【数値指標】 アンケート「体力チェック等を実施し個別にしどろしている」→教職員の肯定的回答 90%以上	① 体力チェックや生活アンケートを実施し、個別指導に生かす。 ・外遊びの奨励と日常的な運動による体力作り ・朝の1分間運動の実施 ・歯磨き指導 ・姿勢の改善と視力向上に関する意識づけ ② 給食・保健委員会を活用し、健康に関する児童の意識を高めていく。	【達成状況】 【次年度の方針】

学 習 等	A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している」→児童の肯定的回答85%以上	① がんばりカードや音読カードを活用し、自分の学習をふりかえることができるようにする。 ② 「聞き方・話し方・姿勢」を掲示し、意識付けを図る。 ③ 「家庭学習のすすめ」を自主学习ノートに貼り、それを見ながらどんな内容にするかを自分で決めて、進んで学習できるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「授業中、落ち着いて学習している」→児童の肯定的回答85%以上	① 学習のきまりについて学校全体で共通の取り組みを推進する。 ・授業開始や終了時の時刻の遵守 ・挨拶を遵守 ・正しい言葉遣いの奨励 ② 「聞くこと」を重視し、約束を共通理解の上、根気強く継続指導する。 ・話し手を見て、話に耳を傾ける。 ・最後まで黙って聞く。質問は最後にする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A19 児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。」→児童の肯定的回答80%以上	① 地域行事等の案内を児童に伝え、積極的な参加を促す。 ② 地域・育成会コーナーを設け、各種イベントのポスター掲示をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B5 児童は、宿題や習ったことを復習するなど、すすんで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は授業で習ったことを復習するなど自主的な学習に取り組んでいる」→児童の肯定的回答80%以上	① 西が岡小「家庭学習のすすめ」を活用し、学年に応じた家庭学習の習慣化を図る。 ・音読と発達や個人差に応じた宿題の徹底 ・学年や個人差に応じた自主学习の進め方の指導 ・家庭学習の時間・やり方・内容の提示 ・学級懇談等での保護者への啓発 ② 自主学习の例を掲示して、よい取り組みを児童や保護者に知らせていく。 ・昇降口前の掲示（学習チャレンジ週間） ・終わったノートの教室内掲示 ・リレー自主学习（上学年）	【達成状況】 【次年度の方針】
本 校 の 特 色 ・ 課 題	B3 縦割り班活動を積極的に行い思いやりの心を育てている。 【数値指標】 全体アンケートの「縦割り班活動を積極的に行っている。」→教職員の肯定的な回答90%以上	① 異学年の交流活動を上級生がリーダーになり主体的に行う。 （花はなタイム・遊友タイム・清掃活動等） ② 班対抗のゲームや活動を取り入れて、継続的に高学年がリーダーとなる場づくりを推奨する。（遊友タイム、運動会）	【達成状況】 【次年度の方針】

等	B6 地域人材を活用した教育活動を推進している。 【数値指標】 全体アンケートの「地域人材を活用した教育活動の推進」→教師の肯定的な回答90%以上	① P T Aや地域協議会等を活用し、各教科・領域で更に充実した体験活動を推進する。 ・ふるさと教室（昔遊び・昔の暮らし） ・読み語り ・学習会 ・農業体験（田植え、稲刈り） ・町探検ボランティア ・ミシンボランティア 等 ② P T A学年委員、地域コーディネーターを活用して、活動内容の事前打ち合わせを行い、充実を図る。 ③ 「にじいろの会」を活用し、図書室の環境整備や学級文庫の充実を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】
---	--	--	-------------------------------

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。